



2019年 12/12 [木]

13:30～16:30

兵庫県立大学は、防災先進県である兵庫県の大学として、防災、減災、災害支援の知を蓄積しています。阪神・淡路大震災からもうすぐ25年、これまでの研究成果を共有し、震災の体験から、「減災の明日」を模索してきた登壇者とともに、人を守る減災について共に考えます。

場 所 兵庫県公館 大会議室

[兵庫県神戸市中央区下山手通4丁目4-1]

定 員 200名(先着申込順)※参加費無料



第1部 研究成果報告 | 「人を守る減災の科学」



人を守る／
都市シミュレーション

兵庫県立大学大学院
シミュレーション学研究科
准教授 大谷 英之



人を守る／
災害対応マネジメント

兵庫県立大学大学院
減災復興政策研究科
准教授 紅谷 昇平



人を守る／
コミュニティ防災

兵庫県立大学大学院
減災復興政策研究科
准教授 馬場 美智子



人を守る／
災害時の看護

兵庫県立大学
地域ケア開発研究所
所長 増野 園恵

第2部 鼎談 | 「阪神・淡路大震災の体験は 社会や科学に何をもたらしたか」



兵庫県立大学
理事長
五百旗頭 真 氏



前高知県立大学
理事長・学長
南 裕子 氏



兵庫県立大学
減災復興政策研究科長
室崎 益輝 氏



阪神・淡路大震災25年



プログラム

総司会：兵庫県立大学理事兼副学長 内布 敦子

13:30 - 13:40	開会あいさつ 兵庫県立大学理事長 五百旗頭 真
13:40 - 13:55	井戸 敏三 兵庫県知事からメッセージ 「25 年、復興への思い」
13:55 - 15:15	第 1 部 研究成果報告「人を守る減災の科学」 司会：兵庫県立大学看護学部長 坂下 玲子 兵庫県立大学で防災・減災について様々な研究が積み上げられており、人を守る科学の一端を担う 4 人の研究者から研究成果を報告します。 人を守る／都市シミュレーション：大谷 英之 准教授 人を守る／災害対応マネジメント：紅谷 昇平 准教授 人を守る／コミュニティ防災：馬場 美智子 准教授 人を守る／災害時の看護：増野 園恵 所長 質疑応答
15:30 - 16:30	第 2 部 鼎談「阪神・淡路大震災の体験は社会や科学に何をもたらしたか」 減災復興、政策、被災者支援など幅広い分野で重要な役割を果たしてこられた 3 人が阪神・淡路大震災以降の減災復興の社会のあり方を討議します。 【登壇者】兵庫県立大学理事長 五百旗頭 真氏 前高知県立大学理事長・学長 南 裕子 氏 兵庫県立大学減災復興政策研究科長 室崎 益輝 氏（コーディネーター）
16:30 -	閉会あいさつ 兵庫県立大学学長 太田 勲

人を守る減災の科学

阪神・淡路大震災 25 年記念事業 / 第 19 回 知の創造シリーズフォーラム
兵庫県立大学フォーラム

申込方法

【電話での申込み】078-794-6653（兵庫県立大学事務局 地域貢献課）

【メールでの申込み】chiikikouken@ofc.u-hyogo.ac.jp

〔メールでのお申し込みの場合は、下記必要項目を必ずご記載ください。〕
 1.氏名(ふりがな) 2.電話番号 3.参加人数 4.団体名(個人以外の場合)

【FAXでの申込み】下部申込書をお使いください。

QR コードを撮影いただくと、
 メール送信画面に移動できます。



FAX 用参加申込書

FAX: 078-794-5575

ふりがな				参加人数	名
お名前					
電話番号		FAX 番号			
団体名 (個人以外の場合)					

【お問い合わせ】兵庫県立大学事務局 地域貢献課（TEL：078-794-6653）